

大型コンクリート工事に

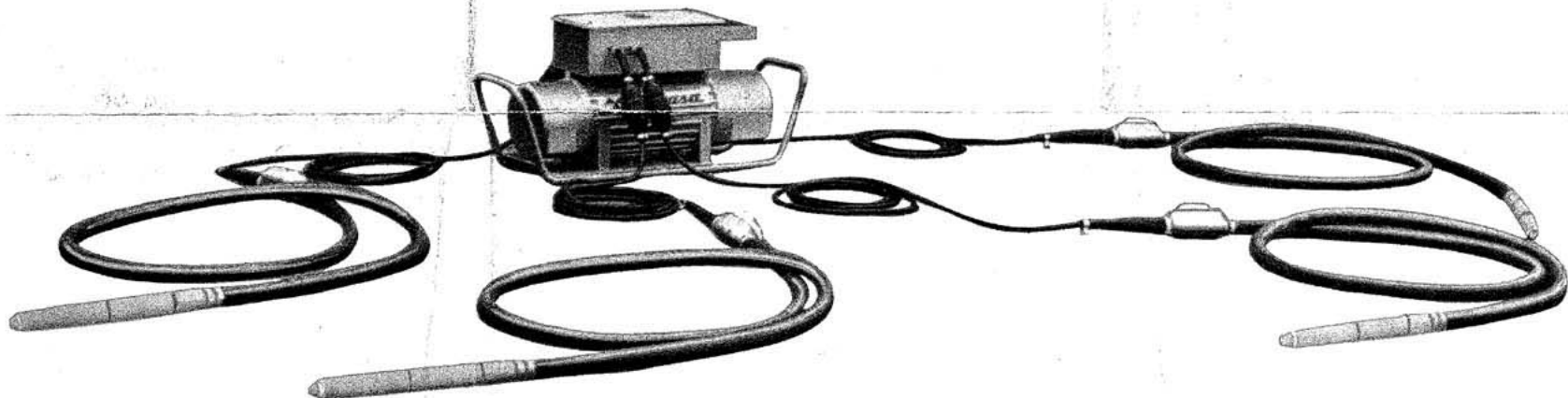
ミカサ インヘツダーを

新型登場



三笠ニューズ

発行所
東京都千代田区猿楽町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222~4607
郵便番号 101 番
PR旬報 年4回発行



FC—新6型コンバーターと新60型インヘッダー



(新60型インヘッダーを使つての作業)

強烈な振動効果を発揮した
三笠新型高周波
パイプレーター

例年より早く梅雨入りしてじとじととうとうらしい天気が続く今日この頃、しばし雨のあがった梅雨の中休みのある日、早朝からコンクリート打ちがあると聞いて、カメラを肩に雨あがりの第三京浜を現場に急行した。

場所は横浜市環境事業局新保土ヶ谷工場の奥村・熊谷・西松・フジタ共同企業体の建設工事現場である。目下五年後の塵芥焼却場の完成を目指して大車輪で工事が進行中で、梅雨空をはね返すような活気に溢れていた。

この日、コンクリート打設作業に使われるパイプレーターは、当社が先月発表したばかりの新鋭機でコンバーターは出力6KVAのFC—新6型一台、これに新60型モーターインヘッダーパイプレーター(インヘッダー)二本を接いで登場する。

間もなくコンクリートミキサー車が到着、ポンプ車より生コンクリートがパイプの先端を脈動させながら吐出される。

ホースの長さ4mの新60型インヘッダーの振動筒を一人が持ち、スイッチボックス側のホースを他の一人が肩から担いで二人で組になってパイプレーターの作業をする。左の腕にパイプレーターと朱書した腕章をつけ、作業区分もはっきりとしていてまことに整然とした作業振りである。

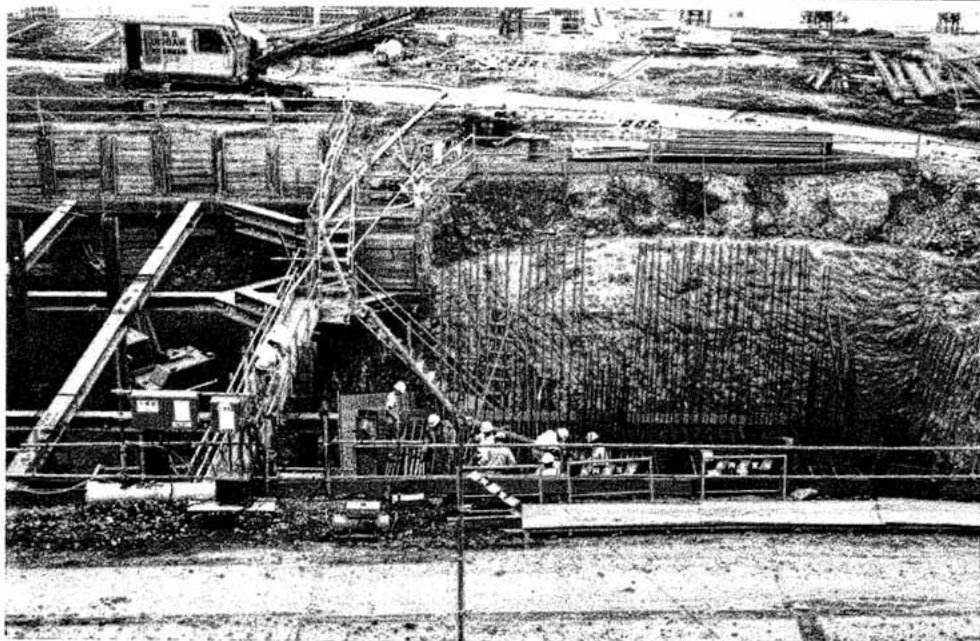
インヘッダーの強烈な振動で生コンクリートの堆積は見る間に流動し均されて行く。研究所内の実験で見馴れているのとは違って、見るからに量感に溢れた逞しさを抱かせる。時折り作業位置を変えるため振動筒をコンクリートの中から抜出すと、

すかさずスイッチボックス側のホースを担いでいる作業員がスイッチを押してインヘッダーのモーターを止め、空転をさせないようにしている。大変良くインヘッダーの機能を心得た注意深い取扱いに感心させられた。この日170㎡程のコンクリートを打設するに要した時間は二時間足らずだった。組織の整った無駄のない作業に加えて、扱い易く高性能のパイプレーターが作業能率の向上に寄与していることも見逃せないと思った。

そこで新60型インヘッダーを使った作業員のご感想をうかがうと、ホースを握っている手許への振動は少ないが、先端の振動筒の力は強いと言う答えが返ってきた。

終りにこの撮影を承諾され御協力頂いた現場の皆さんに御礼申し上げます。

— 森記 —



(コンクリート工事現場の全景・手前にあるのはFC—新6型コンバーター)

東名高速道路での実地試験に 素晴らしい成果を挙げた MOP-12型ポールハンマー



今春弊社がガードレールのポール打込み専用機として開発した「MOP-12型新製品」油圧式MOP-12型ポールハンマーの現場テストを六月四日(金)、日本ロード・メンテナンス(株)井ノ口支所(長崎所長殿)管内の東名高速道路中央分離帯の事故復旧作業現場に行き、極めて良好な成績を取った。

当社からは技術研究所員他四名が参加して、実際の状況をつぶさに体験させて頂いた。この現場は下り車線より二六・七号の地点、天竜川に近接する場所である。下りの追越し車線にトラックらしきダンプトラックの突進で、ガードレールのポールが根元から折れ、折れ曲がっている。直径140mm肉厚4.8mmの太い丈夫なポールを給油機のように曲げた強大なエネルギーにも驚くが、若しガードレールが無かったら対行車線に飛び出して大事故になることを思えば、高速道路のガードレールの果している役割の重大さを今更なるように強く感じられた。

折曲げられたポールをクレーンで引き抜き、傷ついた植木を片付け、作業が終了と今度是我々の出番である。MOP-12型ポールハンマーをクレーンで吊上げ、引抜かれたポールの跡に新しいポールを押し立て、静かにハンマーを下してポールハンマー先端のキャップがポールの頭部につくまで嵌められるのを待って、既に暖機運転を済まして待機しているパワーユニットのバルブを操作するとハンマーは軽く打込みを始める。事故でつぶされ曲がり放しになっていた元の穴の跡に新しいポールを打込むので、どうしても曲った方向へ傾きたがる。そのポールを四、五人の作業員が懸命に垂直になるよう保持しながら、僅かに二分少々で打込むことが出来た。

ハンマーの底キャップの底がポールの頭の丸味に合せて造ってあるので、頭の部分に打痕や傷がほとんど付かなかった。作業員の方々も、これはいかんと欲して、打込みを完了したと喜んで居られた。

ポールの全長257cm、これを地面の上に110cmの高さに揃えて建てるので打込みの深さは147cmとなるわけである。地質はそれほど硬くはないが底の層に碎石が入っているらしく、途中から多少速度は落ちたようだったが、それでも二本目は慣れたせいか一分足らずで打込みを終了した。

今までのポール打込みにはランマーを使っていたので、この操作には二人の作業員がクレーンのワイヤーを握ってランマーの上に乗って、軽業もどきの仕事をしていた。居られたと何ったが、この油圧駆動の遠隔操作による安定したMOP-12型ポールハンマーをご使用することになれば慣れるに従ってクレーンのオペレーター一名で機械操作が出来るとの大きな省力化されると共に能率の向上になることは間違いない。

日本ロード・メンテナンス(株)のお話によると、この日だけでこのような復旧作業現場は三ヶ所あり、天候さえ良ければ毎日のように出勤するそうである。



(東名高速・中央分離帯の事故復旧作業)

名にし負う天下の大動脈東名ハイウェイだけに事故件数もまた多いのであろう。この袋井事業所は菊川から三ヶ日インターチェンジまで約五十キロが担当区域だが、限られた人員でこの高速道路の保守に尽されるご努力は大変なものだと思つた。休日には元旦だけで年中無休の由、我々が安全で快適な高速ドライブが出来るともこうした方々のご苦労があればこそと、改めて頭の下がる思いがした。

それにしても今日、我々が初めて体験した高速道路上での作業は、あまりにも危険が多く、事故と隣り合わせで仕事しているような感じがした。常日頃、速度規制されている高速道路の作業現場の脇を何気なく走り抜けていたが、これからは指示速度に従ってゆっくりと走るように心に掛けてこの実験に心よく協力頂いた長崎所長殿以下社員の方々に厚くお礼を申し上げます。



新製品の説明に耳を傾ける代理店の方々

第20回 西部地区 三笠代理店会開催

(5月13日~14日 京都・嵐山 嵐亭にて)

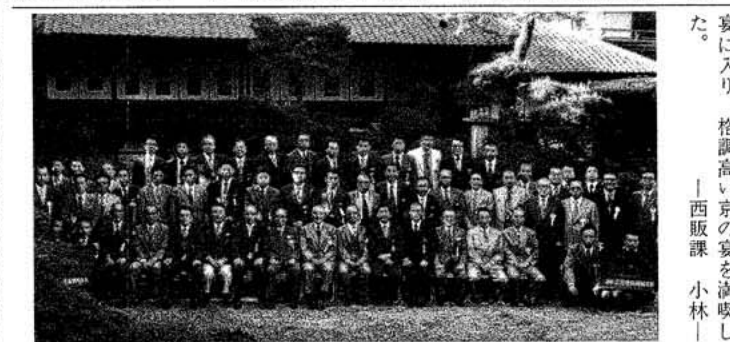
51年度「西部三笠代理店会」は、回をかねて早や二十回を迎え、去る五月十三、十四日の両日、大阪三笠建設機械(株)主催の下に京都嵐山保津川畔の「嵐亭」において、代理店三十三社、並に来賓の銀行、報道関係者多数の参加を得て華々しく開催された。



代理店の皆様に挨拶する三笠建設機械小野社長

社員の出迎える中をいかに京都らしい風情をたぐやせた嵐亭の庭門をくぐって園内に設けられた特設展示会場へと案内された。午後二時、第一部三笠新製品発表の運動開始を告げるエンジン音に今年もまた三笠の新製品に寄せられるご熱意をいかに上にも昂ぶらせずには置かなかった。やがて、吉田常務の説明をまじえた技術部長による実演が、MCD-5型コンクリートカッターから一機種ずつ披露され、これに對して熱心に見学され、質問される代理店さん達の今年も満足気な顔が如何にも印象的であった。そしてこの会が年々華々しく盛会になる秘訣の一端をのぞく思いがした。

なお本年度の新製品として前記の他に、MOE-30型アースオーガー、MOP-12型ポールハンマー、4サイクルエンジン搭載型プレートコンバクター52F型、70F型、110F型、モーターヘッドバイプレーター40型、50型、60型、等十四機種が発表され、更に昨年度中間発表されたMDR-9D型搭乗式ダブルバイプレーションローラー(ナインローラー)MPT-36型ワイドトラウエル等の四機種も同時に展示されて、好評を博した。



宴に入り、格調高い京の宴を満喫した。西販課 小林

恒例の西部地区三笠代理店会も回を重ねて二十回、早くも「成人式」を迎える年になった。関東甲信越東海以北、北海道まで遠く沖繩からの参加者を含めて代理店四十四社、輸出商社十二社、報道関係八社が参加されて、五月十九日、二十日の二日間、箱根湯本すびろに於いて華々しく開催された。

先ず第一日は午前十一時三十分三笠産業本社前を出発、二台のバスに分乗して首都高速道路から東名高速道路を経て時速一〇〇キロのスピードで美濃会場であるホール・すびろまで一時間半のハイウェイコースを折からの雨をついて走り続けた。当日はあいにく早朝からの豪雨で、代理店の方々の出席が心配されていたが、何れもご熱心な方々ばかりなので殆ど欠席者もなく、全員御元氣にお顔を揃えていただいたので、主催者側も感激された。

十二時四十分美濃会場「すびろ」に到着。先発の三笠技術研究所員に迎えられて、しばしばロビーに休憩、昼食をとり、園内の富山から移築したという合掌造りの建物を見物したりしているうちに、雨もすっかり止んで薄曇りさへ射し、早くも、特設会場では第一部の新製品の発表が開始された。やがて吉田常務の説明に、より十四機種の新製品が次々と紹介され、その実演と説明を聞きながら一同熱心に見学された。

本年度の新製品としては、大型コンクリートカッター「油圧走行式」、アースオーガー「油圧式、フレキシブル」、各種プレートコンバクター、「4サイクルエンジン搭載型」、各種モーターヘッドバイプレーター(愛称インヘッダー)、等、更に各種コンバクター、9Dナインローラー「搭乗式」、等である。弊社は毎年代理店会に新製品を発表して来たが特にこの数年より、騒音防止に取

り組んだ新製品を市場に送って好評を博して居り、今年もまた幅広く市場のニーズに対応した新製品を発表して参観者のご好評を頂くと同時に、年々開発への意欲を燃やす三笠の姿

を表現すると共に「弊社が毎年代理店会を開催する唯一の目的は、代理店の皆さんに新製品を見ていただくこと、ご批判を仰ぐことであって、新製品を三笠代理店会の開催意義はございません。こうした信念の下に三笠の技術員は、本日の代理店会が終了と同時に明年の出品する新製品の開発に取り組みわけでございます。何分にも毎年のことですから、容易なことではないのです。どうか多少なりともこうした実状をご理解願います。そしてまた大変なご理解願います。何時も縁の下の方の力持のような役割を始めて代理店の方々に伝えられたい。そして更に言葉を継いで三笠巡回サービス展の順調な好成績を賞讃し、是非今後共引続き大いにご利用されるようお願いしたいと挨拶された。続いて営業関係者を京谷専務、技術関係者を吉田常務と質疑応答に入り活発な討議が行われた。

斯くして代理店会議は極めて有意義に終了、続いて「第三部」の懇親会々々場である箱根湯本ホテル「吉池」へ再びバスを連ねて十七時に到着した。十八時より当館宴会場に於いて大沢課長司会のもとに懇親会に入る。先ず京谷専務の開宴の挨拶から始まり、代理店を代表して盛岡の三洋機械、山崎専務より、「三笠代理店会は今回成人式を迎え



台湾の現情

永井 郁

当社のカテゴリー・パンフレットをはじめPR関係のデザインを担当され、三笠ニクス・連載マンガ「忍法猿楽流」の作者としてお馴染みの永井先生には、此度日本アジア航空PR誌「アジア・エコー」の編集ディレクターとして訪れた台湾の近況を次のように寄稿されました。



(円山大飯店より台北市を望む)

当り平均一〇〇米ドルに達するものと予測されており、台湾政府発行のパンフレットにも、経済先進国の列に加わる日もそう遠くないとのべられている。一九七三年の日台国交断絶、そして航空協定破棄、と大揺れに揺れた日本と台湾ではあったけれど、空のルートと、空のこの路線も、民間ベースの取り決めの取り決めであるが、昨年度「日本アジア航空」と「中華航空」の相互乗り入れにより再開されている事は周知の通りである。

約十年程前に台湾を訪れる外人観光客の中で、アメリカ人を抜いて第一位となった日本人観光客は、国交断絶、航空路閉塞直後の一時期をのぞいて、毎年急速な伸び率を続け、今年度は空前の六〇万人台が見込まれているのである。

「国づくりは、先づ経済建設から」というスローガンを国策としてきた中華民國政府は、その言葉通りに四ヶ年をもち一期とする経済建設計画を一九五三年から実行に移し、本年度はその第六次の最終年に入ったわけである。過去の各年次計画は、すべてその目標数字を達成されてお

り、特に一九六〇年からの十年間、例の高度成長期におけるわが国の毎年平均一・一％という記録に次いで世界二位にランキングされたという高成長率は、いかに台湾経済が強い底力を持っているかを如実に示したものであろう。

しかも一九七三年度のオイル・ショック以来の世界的不況の中にあつてさえも一・三％という数字をあげているという事は、その安定性について十分納得できるものである。一九六八年には国民所得も一人

というお国柄、魅力的な女性と豪華な美食があふれ、台湾観光のガイドブックがキャッチフレーズでいうように「うるわしき逢来りの島」が素朴なホスピタリティで迎えてくれるのである。

温かい人情と、罪深い程に魅力的すぎる女性のせいにかつては「男性天国」と異名をとった台湾も、今、地元側の大いなる自覚もあつて、ようようその観光政策も本道に立ち寄り、台湾観光協会も、又日本側の各トラベル・エージェンシーも女性とヤングに「知られざる、美しい台湾」をPRしよう、と従来のセールのポイントを大きく変更しつつあるところである。そして、恵まれた数多い観光資源の開発に政府がいかに重点をおいているかは、目下着工中の「十大基本建設計画」をみて、その中の六計画が交通に關係している事で十分理解できよう、というものである。

一九七四年から向う五ヶ年計画でスタートしたこの「十大基本建設計画」こそ、先に書いたように世界的な不況下にあつてなお高い経済成長率を保っている要因の一つとなつてい

るものである。この計画に投入される資金は、別表のように政府の保有資金をはじめ民間資本、外国借款……等、総額で新台幣二、五〇〇億元(約二兆円)を越すといわれ、台湾国家予算の四倍近いという事である。

一部はすでに一九七三年から着工されているのであるが、いずれも目標とする一九七九年中には完成が予定され、そのあかつきには台湾経済の様相は完全に変わらざるであらう、といわれている。

表一 十大建設計画

建設事業名	予算額 億元	百分比 %	事業計画概要
1. 電力建設	997	44.8	金山に建設する原子力発電所、127万2千KWの発電能力を持つ
2. 高速道路	376	16.9	基隆—鳳山間373.4km
3. 大製鉄所	256	11.5	一貫作業の製鉄所、年産600万トン
4. 鉄道電化	160	7.2	基隆—高雄間山線、海線等所謂、西部縦貫鉄道495km
5. 石油化学	154	6.9	クラッキング工場は毎年基本原料であるエチレン23.6万トン、プロピレン10万トン、ブタジエン 3.5万トン及び大量の炭化水素を生産する。
6. 桃園空港	93	4.2	面積1,200ヘクタール、滑走路3本、飛行機22機同時に収容可
7. 大造船所	58	2.6	45万トン級タンカー1年間に4隻建造
8. 北迴鉄道	49	2.2	宜蘭—花蓮間82.3km (新城—田埔88km)
9. 蘇澳港	43	1.9	年間積卸量1,000万トン、台中港をや、下廻る
10. 台中港	40	1.8	1,200万トン、高雄港の1/2、基隆港をや、下廻る
	2,226	100.0	

表二 資金調達計画

外国借款	761.3億元	34.2%
中央政府予算	565.4	25.4
公債発行	523.1	23.5
民間投資	62.3	2.8
省政府予算	100.2	4.5
当該事業の自己資金	213.7	9.6
計	2,226.0	100.0



(正装をしたアミ族の美女)

ともあれ、今日もあの「故宮博物院」には中国五千年の歴史が拘束と咲き誇っていることであらうし、龍山寺、界隈、萬華の一角はあいまも変らずあの喧騒が渦まいてい



(南北縦貫高速公路・桃園附近にて)

六月一日より当社の新年度に入るに当り次の通り社員の一部昇格及び移動を行いましたからよろしくお願ひ致します。

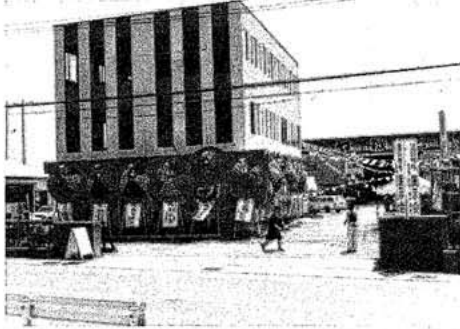
営業部課長に昇格	菅野 源
営業部課長に昇格	岩崎和義
営業部課長に昇格	清水義正
営業部課長に昇格	堀江光男
営業部課長に昇格	永山 茂
営業部課長に昇格	榎本 博
営業部課長に昇格	清水義正
営業部課長に昇格	浅田佳秀

社内人事のお知らせ

六月一日より当社の新年度に入るに当り次の通り社員の一部昇格及び移動を行いましたからよろしくお願ひ致します。

営業部課長に昇格	菅野 源
営業部課長に昇格	岩崎和義
営業部課長に昇格	清水義正
営業部課長に昇格	堀江光男
営業部課長に昇格	永山 茂
営業部課長に昇格	榎本 博
営業部課長に昇格	清水義正
営業部課長に昇格	浅田佳秀

忍法猿楽流 No.40 三笠丸 永井 郁



フジヤ機工棟 新社屋落成披露と記念展示会

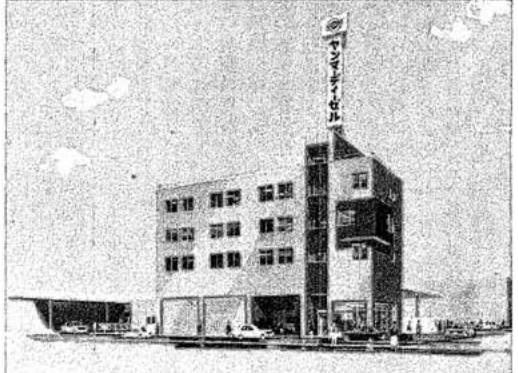
三笠の長野県伊那地区の有力代理店であるフジヤ機工棟(社長花岡朗蔵)ではこの程国道一五三号線沿い(上伊那郡南箕輪村神子柴七四〇八)に於てより建設中の本社新屋が完成されたのを記念して、去る五月二十八日、二十九日の両日、二十数社メーカーの協賛により新社屋の披露と展示即売会が華々しく開催された。

完成された新社屋は、一六五〇平方メートルの敷地に延べ五〇〇平方メートルの近代建築である。一階は国道に面した広いショールームと事務所、二階は応接室、和室、食堂、図書室等社員の方の憩いの場所も設けられている。又敷地内には五〇〇平方メートルの既設倉庫がありこの倉庫は修理工場と品物の出入りに必要なクレーンも設置されている。その倉庫の扉には縦五米横四米のいとも鮮



(倉庫扉の大きな看板)

新社屋落成披露と記念展示会 白勢商事(株)機械建材営業本部



我が社の新潟地区代理店である白勢商事(株)(新潟市山手町下屋敷一七二七)白勢誠一社長)では、かねてより建設中の機械営業部、ヤンマー営業部の社屋が完成されたので、五月二十六日新社屋の四階に於いて、得意先及び仕入先約二二〇名を招いて盛大な披露パーティーを催された。



第5回 三笠丸金商主催
省力機械と
住宅機器展示会 4月18日
愛知県豊橋地区の三笠代理店である丸金商では、去る四月十八日(日)に第五回、省力機械と住宅機器展示即売会を本社敷地内に於いて出品メーカー多数が参加して華々しく開催した。この展示即売会も回を重ねて早や五回目となった。

第12回 全三笠野球大会
四月八日、恒例の三笠産業創立三十九周年を記念する「第十二回全三笠野球大会」が、本年の当番専務館林工場主催の下に、春日部市大沼グラウンドに於て開催された。



DR7型セブローラーが五台も即売されたことはその最もハッキリした現れだと思ふ。

セブローラーの走行レバーを中立の位置にしても停止しないで微速前進するので、完全に停止するよう調整方法を教えてください。

三笠製品は注目の的であった
管工事業者さん今までは最終仕上げの舗装までは行っていないが、時代の流れと共に機械化が進み最近では最終仕上げの舗装まで管工事業者さんで行うようになった。今回の展示即売会に於て、M

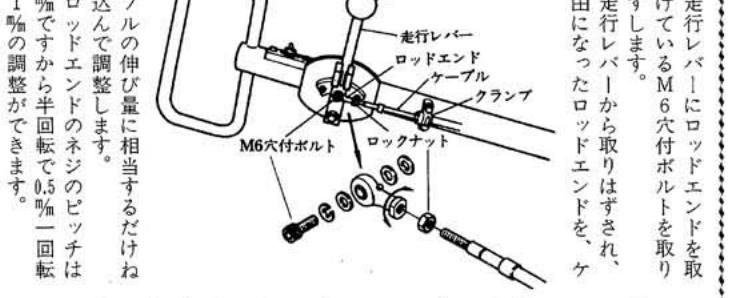
丸金商さんには、水道機械や住宅機器を主力に扱っていらっしゃる関係上、管工事業者さんからは絶対の信頼があり、今後こうした傾向が益々多くなるものと思われる折から、今後の丸金商さんの御活躍に一層の御期待をお寄せする次第です。

コントロールレバーが同じ動きをして、油圧トランスミッション内部の作動油の流れの方向と量を調整させ、更にそれによって回転方向と速度をも変化させます。

昭和五十一年度
入社式催される
景気回復の兆しがいく分見え始めたとは言え、未だ不況の続くなかで本年度採用社員の入社式が四月一日午後一時より三笠本社会議室に於いて社長はじめ幹部社員が列席して行



各チームの優秀選手に贈られた。続いて館林工場斎藤課長の閉会の挨拶があり、全員で社歌を合唱した後、京谷専務の首頭で三笠産業の万歳を三唱して、和気藹々のうちに親睦を深めた第十二回全三笠野球大会を終了した。



技術研究所及び春日部工場の住居表示変更のお知らせ
六月一日より技術研究所及び春日部工場の所在地が左記の新らしい表示に変わりました。

わかれた。
期待と緊張の入り混った面持の十三名(男子七名、女子六名)の新入社員は京谷社長より社員会としての心構えを訓され、新入社員を代表して長崎信一君が答辞を述べた。全員が記念のカメラにおさまった。大きな希望と若干の不安が複雑に胸のうちに渦巻いている社会生活の第一日であった。



ローラーが停止する時の走行レバーの位置と中立位置とのズレを予め目測して置き、それに相当する寸法だけロッドエンドを右にまわしてねじ込みます。